

北九州における情報通信革新技術の活用に関する調査研究

Survey on Advanced IT R&D and Application in Kitakyusyu

キーワード

地域情報化、ポータルサイト、e - P O R T 構想、ユビキタス

1. 調査の目的

北九州市における情報インフラは、ネットワーク系を中心に、全国でも有数の整備状況を誇っている。特に、ギガビット・ネットワーク関連施設や、T A O の研究開発支援センター等の施設は全国的に注目を浴びている。

平成 14 年度は、前年度、本研究テーマから発足した「北九州ライフポータル研究会」、
「北九州 A B X デザイン研究会」などで検討された、総合的な情報インフラ「北九州 e - P O R T」構想の具体化に向けた展開方策について検討を行うとともに、次期テーマの発掘を行うことである。

2. 調査研究成果概要

(1) e - P O R T 構想実現へのアプローチ

平成 14 年度、e - P O R T 構想の実現に向けて具体的に検討した内容は、図 1 に示すとおりである。

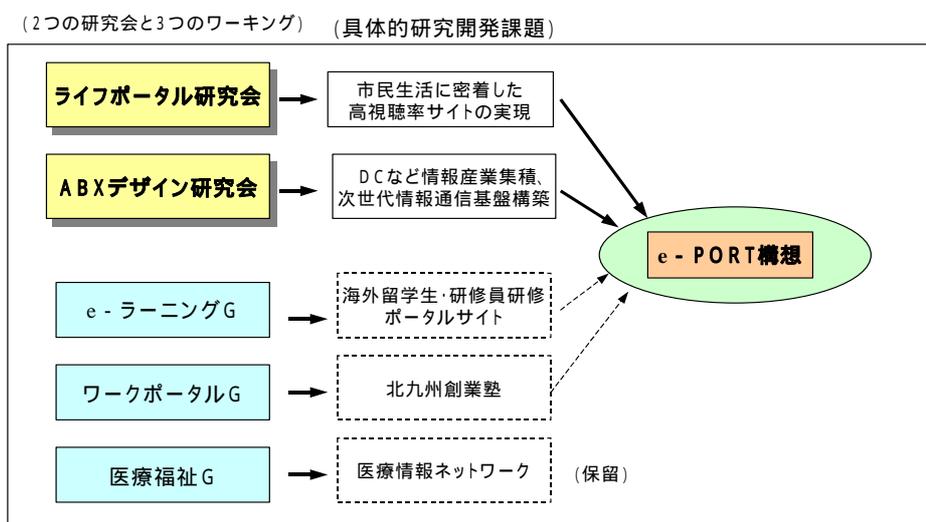


図 1 研究分野と研究開発課題と e - P O R T 構想

(2) e - P O R T 構想の全体像

具体的な検討の結果、e - P O R T 構想の全体像は、図 2 に示すものとなった。

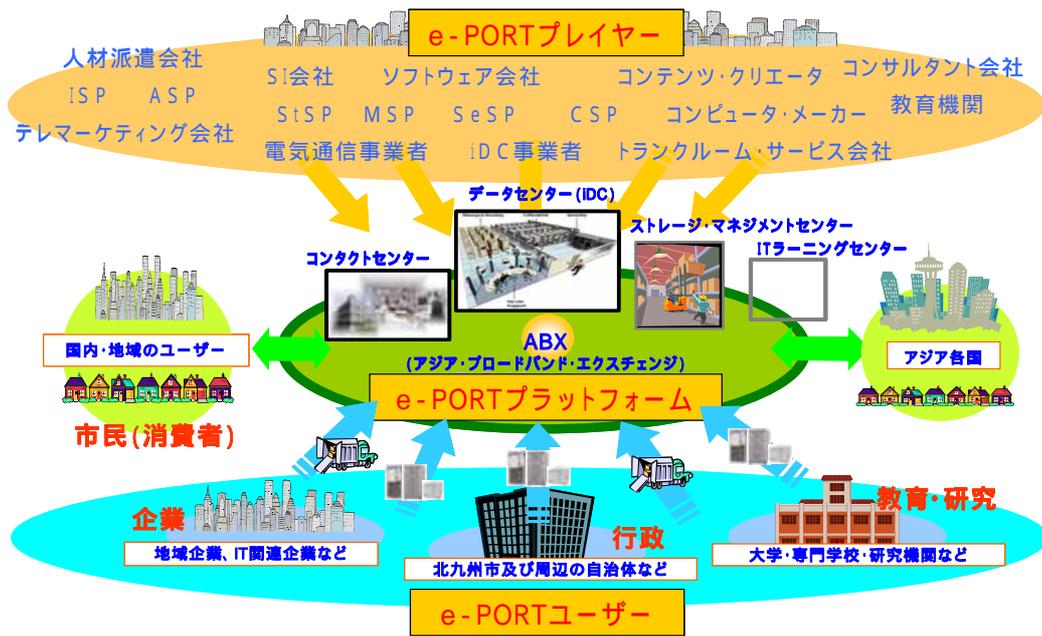


図2 e - P O R T 構想の全体像

(3) 次期テーマへのアプローチ

本調査研究の基本的方向は、情報通信革新技術を活用することによって地域情報産業の育成・振興を図るところにあり、研究課題の実現化への移行に伴って、新規の研究課題の発掘を模索することになる。

平成14年度は、次期テーマとして地域ユビキタスを取り上げ、具体的な研究課題を模索した。アプローチの基本的な視点は、図3に示すとおりである。

次期テーマへのアプローチ

< 地域ユビキタス >

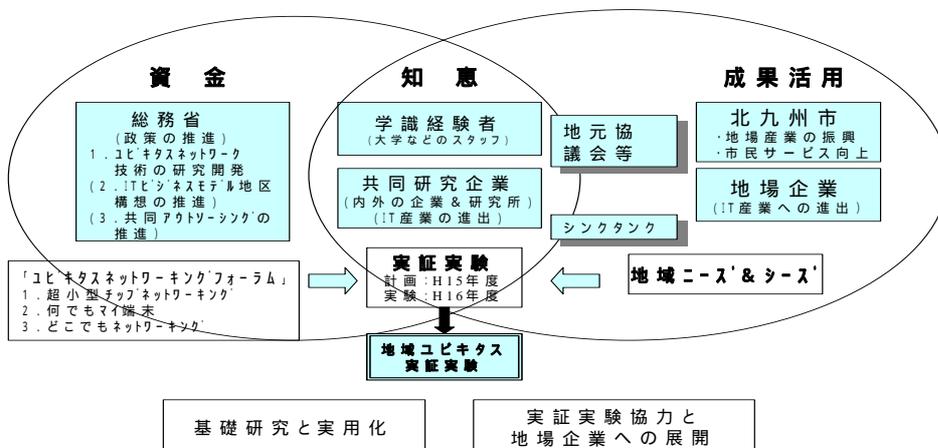


図3 次期テーマへのアプローチ

(4) 今後の展望

平成 14 年度は、「北九州 A B X デザイン研究会」での提案内容をベースに、平成 14 年 10 月、産・学・官からなる北九州 e - P O R T 構想推進協議会が設置され、「北九州 e - P O R T 構想」を積極的に推進する体制が整った。インターネットデータセンターを始めとする情報基盤の整備が次第に現実化しつつある。

一方、政府の電子政府・電子自治体政策の流れを受けて、北九州市役所において、「北九州市 I T 推進アクションプラン」に基づいた情報化施策が展開されつつある。住民基本台帳ネットワークを始めとする行政サービスの電子化への動きである。

さらに国レベルにおいて、近年、先端的情報通信技術のひとつとして「ユビキタスネットワーク技術」への取り組みが本格化しつつあり、これらの動きをにらみながら、北九州において「地域ユビキタス」を積極的に展開していくためのニーズ&シーズ発掘作業を行ってきた。国などの予算動向を踏まえて、地域自治体、産業界、市民などが一体となった北九州からの「地域ユビキタスプロジェクト」の発信が期待されるどころである。